

学校教育目標	小坪っ子は星座のように輝く ~自らが光を放ち、ともに輝き合う子の育成~ 知:自ら粘り強く課題解決を図り、自分の考えを深め表現できる子どもを育てます。 徳:周りの人と豊かにかかわる中で、自分や相手を大切にできる子どもを育てます。 体:食生活や運動など自分の生活を見つめ、健康な心と体をつくる子どもを育てます。 公:積極的に相手や社会にかかわり、自分ができることを考え、実践する子どもを育てます。 開:様々な人とかかわり合い、視野を広げていこうとする子どもを育てます。				
	学校概要	創立 39 周年	学校長 高田桂太郎	副校長 加藤真理	2 学期制 一般学級: 12 個別支援学級: 3
	児童生徒数: 305 人	主な関係校: 日野南中学校			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<互いのよさと違いを認め合う力> <確かな言葉の力> <伝え合い、自分の考えを深める力>	日野南中学校 日野小学校 日野南小学校 小坪小学校	多様性を尊重し、協働して高め合う子ども 主体的・対話的に学び続ける子ども ①人を思いやる心を育むために、挨拶運動に取り組む。 ②「対話的な学びの充実」をブロック授業研のテーマとして設定し、各教科・領域等においてテーマを意識した授業を展開する。 ③児童生徒交流日、小中交流会で、6年生が中学校の授業と部活動を体験する。

中期取組目標	○ 学校教育目標を実現するために、「人・もの・こと」との出会いを大切に、豊かな人権感覚と活力にあふれた学校づくりを目指します。 ・学ぶ楽しさと創り出す喜びが味わえる主体的な学びから、幅広い知識と教養を身に付けさせます。 ・子どもたちの人権感覚と規範意識を向上させ、豊かな情操と道徳心を育てます。 ・歩く、走る、跳ぶ運動の日常化と食育を通して、健やかな体をつくりまします。 ・組織的・効率的に業務を行うとともに、高い志をもって学び続ける職員集団をつくりまします。 ・小中一貫教育推進ブロックや家庭・地域と連携し、まちに根付き、まちに求められる学校づくりを進めます。
--------	--

重点取組分野	具体的取組
生きて はたらく知 担当 学力向上委	①「見通し」や「振り返り」を大切に、子ども一人ひとりが何を学習したのか実感できる授業づくりを行う。②子どもの問題解決を支援する中での教材・教具の工夫や適切な助言や価値づけについて協議し合い、指導力の向上を図る。
豊かな心 担当 児童指導委	①学年、学級目標に人権の視点を盛り込み、仲間づくりの振り返りや目標設定を行う子ども人権会議を定期的に行う。②学習指導における人権教育の視点を見直し明確化する。また、道徳教育の意義を再確認するとともに、新学習指導要領に沿った指導を計画的に推進していく。
健やかな体 担当 体力向上委	①感染症拡大防止につとめながら、日常的な外遊びの推奨など、できることを行っていく。②給食時の約束を徹底するとともに、食育指導を全学級で実施する。
児童生徒指導 担当 児童指導委	①子どもへの支援や行動での課題を、随時児童支援専任を中心に集約し、必要に応じて速やかな初期対応や的確な手立てを組織的に行う。②学習や生活のスタンダードを、全職員がぶれない指導にあたるとともに、保護者にも周知して家庭との連携をはかる。
特別支援教育 担当 校内委員会	①児童の特性の理解に努め、授業のユニバーサルデザイン化を進めるなど、情報を共有しながら継続的な支援を進める。②特別支援教育コーディネーターを窓口として関係機関と連携し、ケース会議等で話し合った支援の手だてを実践する。
地域連携 担当 教務	①学校づくり懇話会やKSS、学校・家庭・地域連携等を活用して情報交換での課題を共有し、連携を強化する。②保護者、学校のニーズを明確化するとともに、それに応じたPTA活動の機能を充実させ、内容を保護者に向けて発信する。
いじめへの対応 担当 いじめ防止委	①いじめ防止基本方針に基づき、年間計画の作成・実行・検証・修正を行い、組織的な情報共有・対応ができるように体制を強化する。②いじめ未然防止の為、いじめを許さない環境づくりをし、早期発見・事案対応を心がけ、関係機関との連携を密にし、いじめについて適切に判断し対応する。
人材育成・ 組織運営 (働き方改革)	①ブロック研究会を立ち上げ、その代表による企画会を核として、指示系統の確立や学校経営への参画意識を高める。②リーダーシップ開発研修及び人材育成マネジメント研修の受講者に対して、研修内容に合わせた校内での実践・活躍の場を設ける。③業務の進め方を見直し、効率的な働き方についての検討を継続していく。

担当

教務